まるごと!西日本

発行：(公財)オイスカ西日本研修センター　まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311　FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org　検索　オイスカ西日本

第 662 号
平成 30 年 12 月号付録

←Facebook と Instagram に日頃の様子を更新中！
是非チェックお願いします！

ご協力ありがとうございます！

（敬称略）

【11月の新入会】

藤澤　泰尊
今田　勝正
医療法人慈香会　森山内科
今任　陽子
㈱進幸

【11月の寄付金】

中村工業㈱
脇山公民館
脇山校区自治協議会
福岡市立脇山小学校

【11月の寄付品】

美奈川理恵、五味俊哉、西原彩梨紗、オイスカ豊田推進協議会、山本豊呼、高田川部屋の安芸乃山・安芸乃花母、筑紫野市社会福祉協議会、原秀仁、高田川部屋竜電関、長崎国際大学、福岡市青年農業者連絡会、原田明

12 月号の予定

1 日	脇山小学校餅つき、体験農園みそ作り
2 日	日本語能力試験
3 日	ベトナム一行来所
4 日	木下写場ファミリークリスマス会
	所長フィリピン訪問(～7 日)
6 日	飯倉中央小学校派遣授業
8 日	須恵町国際交流協会交流会
	朝倉推進協議会役員会
9 日	基山町ふれあいフェスタ
11 日	早良区役所グリーンツーリズム来所
	(有)ゼナ忘年会
12 日	福岡県議連懇親会、クリスマスマーケット出演
14 日	佐賀県推進協議会幹事会
15 日	高取公民館クリスマス会
16 日	高取公民館餅つき、飯倉中央公民館餅つき
	らいふステージイベント
17 日	オーレック研修(～18 日)
21 日	早良高校日本文化体験
22 日	体験農園餅つき
23 日	フリースクール玄海餅つき
26 日	若竹保育園餅つき
28 日	センター餅つき
29 日	仕事納め
30 日	年末年始ホームステイ(～1/2)

※仕事始めは 1/5 からです。

第 10 回オイスカ収穫感謝祭・秋

最高の秋晴れに恵まれた 11 月 10 日(土)、第 10 回目となる収穫感謝祭・秋を開催しました。今年で 5 年目となる大相撲「高田川部屋」の認知度も高まり、当日は過去最高の約 1,700 名の来場者でセンターは大賑わいとなりました。開会式では、原田義昭環境大臣もご臨席いただき、研修生の各国国旗掲揚から始まり、切れ間なく多くの出し物と出店に来場者の皆さんも大喜び。もちろん、高田川部屋「特製しおちゃんこ」や、研修生の国の料理、イノシシの丸焼きや、その他多くの楽しい食やイベントがあふれ、また、オイスカ農産物の販売にも多くの方が群がってました。最終の研修生＆力士による餅まきまで多くの方に楽しんで頂き、参加者、研修生にとっても良き思い出となったようです。来年も気合を入れて準備します。また来年も多くの方のお越しをお待ちしております。（廣瀬所長）

フラダンスを踊っているワッキーボーイズと研修生

餅投げの様子

チャントーさんの長野県での研修

11 月 19 日から 22 日まで、長野県の信州大学にエリサン(アジア原産の野生の蛾)の研修に行ってきました。エリサンは自分がカンボジアで約 3 年間母校の大学内でお世話をしていました。今回の研修には、本部の藤井先生も一緒に行きました。最初の日東京に着いたあと、エリサンの繭(エリシルク)を使った商品のお店を見学しました。そこでは、子供のための服などを売っていました。その後、信州大学ではエリサンの研究をしている梶浦先生から、エリサンの事をいろいろと勉強しました。これから、日本の会社が、カンボジアの農家でエリサンの生産をするサポートをしていきます。(チャントー)

田隈公民館バザー

11 月 4 日(日)、田隈小学校体育館で田隈校区の文化祭がありました。毎年後方の片隅でバザーの出店をさせていただいていますが、今年はベトナム研修生のタンさんがバザーのお手伝いをしました。会場内では他にも飲食物や不用品のバザー、書道、絵などの展示、ステージではダンスや歌も行われてにぎやかでした。

今回は卵と量り売りの新米と玄米しかありませんでしたが、毎年楽しみにされている方もあり、卵は開始 1 時間ほどで完売することができました。(安東)

卵モデルのタンさん

黄金川清掃

11 月 12 日(日)、グリーンウェイブ朝倉水源の森実行委員会と黄金川を守る会の共催で第 5 回スイゼンジノリ保全活動がありました。今回は林裕二朝倉市長をはじめ、学生、行政、企業など合わせて 168 名の参加がありました。研修生も学生と交流をしながらも環境整備の重要性を考えるイベントとなりました。

今回は川の中や両岸にある草の除去、スイゼンジノリの種まき、柳の記念植樹を行いました。スイゼンジノリが大きく育ち、徐々に繁殖していけばと思います。

この活動は 5 か年計画で行われていまして、今回が最終年にあたりますが、これからも何らかの形で支援を続けていければと思います。(安東)

宝珠山 100 年の森づくり記念植樹 （11 月 23 日）

11 月 23 日（金）、18 回目を迎える宝珠山 100 年の森づくり記念植樹、研修生たちが参加するようになって今年で、ちょうど 10 回目になりました。毎年 3 メートルほどの桜やモミジの苗木を 50 本程度植えています。本数は少ないですが、根巻きされた苗木は大人が一人で抱えるのもやっとなほどの大きな苗木で、植林地も結構な急斜面と、かなりハードな作業になりました。毎年地元の実行委員会の方や子供たちと一緒になって木を植えます。植林地までの道沿いは、昨年の豪雨の影響で崩れているところや工事をしているところ、耕作ができないまま放置された田畑など、まだその傷跡が残っています。そんな中でも 100 年後の子供たちのためにきれいな森を残そうと被災後も継続されているこの活動に参加することができ、研修生たちもいつも以上に元気よく活動することができました。活動後の交流も用意いただいた料理を食べながら楽しいひと時を過ごせました。とても寒い日でしたが、心は温かい一日となりました。（彦坂課長）

宮崎＆鹿児島を訪問、学校視察・交流会

11 月 14 日(水)、15 日(木)と宮崎県と鹿児島県を訪問してきました。

14 日は宮崎県高鍋町にあります宮崎県立農業大学校を訪問して、校内の畑やハウス、畜産の施設、口蹄疫メモリアルセンターなどを視察しました。また、夕方からは学生自治会主導で歓迎会を開いてくださり、和太鼓やひょっとこ踊りを見学しました。夕食後は研修生と学生で一緒にダンスをしたり、国の紹介をするなどの交流をしました。

15 日の午前は都城市の南九州大学を訪問して環境園芸学部の先生方に野菜や果樹のハウス、造園の実習場所などご案内していただきました。午後からは鹿児島県の桜島中学校を訪問して、約 2 時間の交流をしました。研修生からはバンブーバンドやダンスの披露、国の紹介などをして、学生からは全体の合唱をしてくださいました。

全体的には忙しい行程ではありましたが、研修生にとりましても多くの学びがあったと思いますし、学生にとりましても交流を通じて視野が広がったように感じます。来年以降も継続し、各学校を訪問できればと思います。研修生の受け入れありがとうございました。（安東）

P1 👆 宮崎県立農業大学校ハウス視察

P2 👆 宮崎県立農業大学校生と交流

P3 👆 南九州大学：環境園芸学・野菜・果樹視察

P4 👆

桜島中学校交流会
☜ 国の紹介をしている
カンボジア研修生・チャントー

学生達との集合写真 ☞

研修生の紹介コーナー ④

みなさん、こんにちは！インドネシア人の Eer Muhamad Hoerudin です。ニックネームはエエルです。今年の 10 月に 28 歳になりました。農業一般コースの研修生です。私は日本へ来る前、レストランのマネージャーでした。そしてオイスカインドネシアで農業の研修生でした。

？？ エエルさんに聞いてみましょう ？？

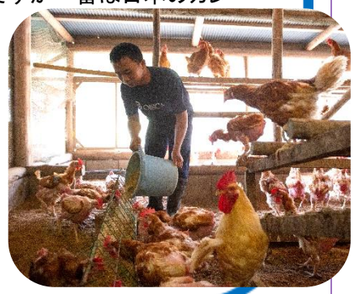
● インドネシアのおすすめの料理は？

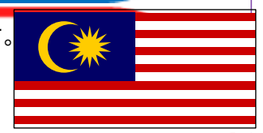
☛ **レンダン**です。レンダンはスパイシーな肉料理です。ミナンガウ族の民族集団で起源されました。現在、一般的に全国に奉仕しています。この料理は伝統的な儀式、結婚式の祝宴、ハリラヤなどのお祝いの機会にミナンカバウのコミュニティによって伝統的に準備されています。料理の専門家はこの料理はカレーと表現していますがカレーではありません。2011 年、CNN インターナショナルの“世界に 50 品非常に美味しい食べ物”のオンラインアンケートで 3 万 5 千の人がインドネシア・レンダンを第1位に選びました。2018年、レンダンはインドネシアの5つ目の全国料理の 1 つとして正式に認められています。

● 日本料理で何が 1 番好きですか？☛ うどんと天ぷらが好きですが一番は日本のカレーライスです。

● 日本はどうですか？☛ 素晴らしい国です。どこもゴミがありません。

● 好きな言葉？ ☛ “Sabar” と “Bahagia”です。日本語では“我慢” と “幸せ”という意味があります。いつでも、どこでも、日常生活で問題などがあります。でも自分で我慢が出来たら幸せが必ず来ます。





こんにちは、みなさん！マレーシアから来ました。Nur Amanina Binti Abdul Rahman です。ニックネームはアマです。23 歳です。環境保全型農業技術コースです。マラ大学でアグリビジネスを勉強しました。時々お父さんのサトウキビ畑を手伝いました。

？？ アマさんに聞いてみましょう ？？

● マレーシアのおすすめ場所は？ ☛ **マスジッドベシ**です。クアラルンプールのプトラジャヤにあります。マスジッドベシは第 2 主要なモスクです。1 番はマスジッドプトラです。マスジッドベシはイスラム教がお祈りする場所です。このモスクは鉄で作られていますので鉄モスクと言われています。暑い時でも涼しいです。この建物は 2004 年 4 月～2009 年まで作られている物です。お祈りする時、2 万人は入ることが出来ます。

● 日本料理で何が 1 番好きですか？ ☛ たくさんあります。うどん！それからお好み焼き、たこ焼き、寿司、センターの料理人の大坪お父さんのキムチです。

● 日本はどうですか？ ☛ 日本に来た時は 4 月でした。びっくりをしました。なぜなら、本当に寒かったです。それから空気がきれいです。そしてチリがありません。それで、子供達がとても可愛い！！

● 好きな言葉？ ☛ マレーシア語で「バイクアー！」日本語で「いいですね！」この言葉はかっこいいと思います。この言葉を聞くとやる気が高まります。例えば、試合時、よく頑張っていた人が勝ちましたらこの言葉を使います。選手などがもっと頑張るのでこの言葉を使ってくださいね～！

佐賀バルーンフェスタ見学

11 月 2 日(金)、オイスカ佐賀県推進協議会(島松孝夫会長)のご招待で佐賀バルーンフェスタを見学しました。早朝からセンターを出発して午前の競技を見学。大空に舞い上がるバルーンを見て歓声が上がっていました。その後、バルーンファンタジアというイベントや会場内を見学しました。

午後からは現在開催中の肥前さが幕末維新博覧会の会場の佐賀城本丸歴史館と葉隠みらい館を回り、日本様式の建築物を見学して歴史に触れることができました。

オイスカ佐賀県推進協議会の皆様、毎年ありがとうございます。(安東)

第22回玉名大俵まつり

11月23日、熊本県推進協議会行事で第22回玉名大俵まつりに研修生5名が参加をしました。重さ1トン、横幅4m、直径 2.5m の大俵を転がしタイムを競う競技で34団体が参加をし、オイスカ研修生は会員の明光義塾熊本のチームに加わり挑みました。あまりにも大きな俵に圧倒されながらも山田事務局長の指揮先導のもと、一生懸命に大俵をロープで引きゴールインをしました。タイムは1分22秒台で例年よりは早かったのですが、決勝6チームに惜しくもエントリーできませんでした。当日はお天気にも恵まれ交流ができ清々しいイベントになりました。(満川)

大俵を引く研修生グループ

福岡・マレーシア友好協会　ナショナルデー

11 月 30 日(金)、マレーシア独立 61 周年を記念して講演会及び懇親会が開催され、マレーシア研修生のアマさんとムスさん、そして技能研修生(正興電機製作所)のラハマンさん、シュクリさんとで参加しました。おりしも前日の 29 日に福岡⇔クアラルンプールの直行便(エアアジア X)が来年 3 月 1 日から就航するとの吉報とタイミングよく開催され、参加者の皆さんを含め盛り上がったナショナルデーとなりました。これから福岡とマレーシアがより一層強い結びつきが出来ることと思います。マレーシアからの研修生にとっても、1 年間学んだ日本がより身近になり、良い懸け橋となってほしいものです。(廣瀬所長)

インターンの蒲池さんの言葉

オイスカ本部で CSO ラーニング生としてインターンをしています、蒲池舞乃です。11/25～11/27 に西日本研修センターにお邪魔しました。まずは研修生の行事の多さ、忙しさにとても驚き、毎回素敵な笑顔で迎えている研修生に尊敬の念を抱きました。豊田副所長には有機 JAS マークなど認証マークの理想と現実についてうかがいました。本当に安全・安心なものを手に入れたいなら、マークで判断するのではなく実際に現場に行ってみることが大切とおっしゃっていたのが印象的でした。さらにインターンの仲間と進めているプロジェクトの一環で研修生のフェアトレードマークなどの認知度を聞きました。結果はだれも知らないというものでマーク制度の弱点を垣間見たような気がします。またリナさんと研修センターのホームページについても勉強しました。今後のセンターの information にご期待ください！農業に関しては、役に立ったか、足を引っ張ったか微妙ですが、普段東京ではできない体験をさせていただきました。初めての体験が多く、戸惑いながらの活動でしたが、廣瀬所長、豊田副所長をはじめスタッフの方々、リナさん、タンさん、ニコさん、研修生の皆さんに大変親切にしていただきました。ありがとうございました！(インターン・蒲池)

高田川部屋　千秋楽

11 月 25 日(日)、11 日から始まった大相撲九州が終わり、高田川部屋力士の健闘を称えて千秋楽パーティーが開催されました。力士総勢 20 名が精いっぱい頑張りました。当日は多くの支援者の方々が集い、あっという間に終わった九州場所の数々の名場面に思いをはせていました。幕内の竜電関、輝関は残念ながら負け越しとなりましたが、幕内上位での素晴らしい戦いを見せてくれました。十両の白鷹山関は勝ち越し、その他の力士も頑張りました。研修生にとっても初めての共同生活。最初は驚きが強かったようですが、千秋楽では皆で楽しくダンスをして名残を惜しんでいました。来年の研修生もきっと楽しみにしているはず。

高田川部屋力士の皆さん、本当にお疲れ様でした。来年もよろしくお願いします。(廣瀬所長)

脇山歩こう会

11 月 4 日(日)、この時期脇山の恒例行事となりました、3世代歩こう会のメンバー約 80 名がセンターを訪問しました。ご一行は脇山公民館を出発して、約2kmの道のりを歩いてセンターまで来てくれました。

センター到着後は、オイスカの活動紹介を行い、研修生からは国の紹介を行うなどして交流を深めました。昼食では高田川部屋の力士の特製ちゃんこと脇山名物のかしわおにぎりをたくさんいただきました。

日頃センターに足を運ぶ機会の少ない脇山の皆さんに、オイスカを理解していただくよい機会となりました。(豊田副所長)

歩こう会の参加者の皆さんとオイスカ研修生(脇山人)との交流の様子 ☛

鬼木大明神　今月の一句

「誰かのために」と思った瞬間から人間は頑張れる。
確かに、人間は弱いものを守ろうとした時に、勇気が湧いてくる。
人間は、自分以外のために、頑張ることで他とつながっている幸福感が得られるのだ！
本来、人間は自分のために生きていないのだ。
世のため、人のために生きているのだ！！

飯倉中央小学校交流

11 月 1 日、研修生 5 名が飯倉中央小学校での交流で、国の紹介と子供達による日本の遊びや文化の紹介が行われました。国の紹介の後には答えきれないほどの質問があり、子どもたちの積極的な姿に驚きました。スーホの白い馬のように羊や馬を飼っていますか(モンゴル)？ゾウは何頭いますか(スリランカ)？有名な鳥は他にもいますか(パプア)？など動植物に関する質問が多かったです。文化紹介では子供達が日本の昔ながらの遊びを教えてくれ、今でもけん玉、お手玉、おはじきで遊んだりしているんだなぁと懐かしく思いました。12 月の交流会も楽しみにしております。（園田）

楽しく交流をしている様子 ☞

オイスカ豊田推進協議会センター訪問

11 月 10 日（土）に開催された「収穫感謝祭・秋」の様子と西日本支部の活動状況を見学したいという事で、愛知県にある豊田推進協議会の光岡会長をはじめ総勢 15 名の参加者がセンターを訪問されました。感謝祭前日の 11 月 9 日には、西日本支部運営委員の方と意見交換、夕食懇親会を行い、九州地区におけるオイスカ活動の支援体制、活動事例の紹介をさせていただきました。

また、感謝祭翌日の 11 日（日）には、朝倉市で開催された黄金川の清掃活動にも参加していただき、ズボンをまくり上げて川に入り、草の除去作業に汗を流していただきました。

参加された皆様は、予想以上の収穫感謝祭の賑わいに驚かれたと共に、オイスカ活動の理解を進めることを目的とした大きなイベントの開催の必要性を感じていただきました。

そして、何よりも日本国内における推進協議会のメンバー同士の交流の促進がオイスカ活動の発展につながることを改めて感じることが出来ました。（豊田副所長）

黄金川清掃活動の作業中

朝倉推進協議会と一緒の集合写真 ☞

体験農園だより

今年の体験農園・秋冬作の野菜の生育は、今までにない立派な生育をしており、特に白菜、ほうれん草は素晴らしい出来栄えです。しかし、連日のニュースで出ている通り、今年の秋野菜の値段が大暴落しているそうで、せっかくの野菜の出来栄えがあまり得していないような気分になりますが、それでも体験農園の野菜たちは本当に甘くて美味しいと大人気です。

ちなみにどうして今年の野菜の出来栄えが良いのかと言いますと、暖冬の影響もありますが、8 月までの猛暑から 9 月に入って急に涼しくなり、野菜の生育がスムーズに進んだからなのです。その分虫の被害も少なくて済みました。

大豊作の美味しい秋野菜をたくさん食べられるように、今晩のメニューも鍋料理でいきましょうか。（豊田副所長）

（左上）白菜、（右上）ほうれん草、（左）ネギ等

脇山地区ソフトボール大会に参加

11 月 18 日（日）脇山地区のソフトボール大会が、9 チームの参加のもと早良高校で盛大に開催されました。
オイスカ海外研修生チームは、午前中に2試合が組まれ、1試合目は 2 支会のチームと対戦し、2 試合目は優勝候補の早良警察署チームと対戦しました。

結果は申すまでもなく、2試合とも見事に惨敗しましたが、1試合目と2試合目を比較して研修生のレベルがかなり向上していたことに、地元の方からもお褒めの言葉をいただきました。11 月は行事が立て込んでいたので殆ど練習が出来なかった状態でしたので、次回のソフトボールでは少しでも練習を重ね、リベンジできるように頑張っていきたいと思います。（豊田副所長）

チャントーさんがバッティング中の様子

オンゲームをする準備 ☞

大野城市スピーチコンテスト

11 月 4 日、研修生 5 名が第 5 回大野城市英語・日本語スピーチコンテストに出場し「私が思う国際交流・国際協力」というテーマで、日本に来てから経験した国際交流や母国に対する日本の国際協力についてスピーチしました。原稿は覚えないといけないのですが、専門的な用語を多く使っていたので覚えるのに苦戦しました。同じ部門に出場していた日本語学校の学生は身近な体験談を話すようにスピーチしており、発表の仕方や原稿の作り方が参考になりました。母国語ですら大勢の人の前で話すのは緊張するのに、日本語でのスピーチによく取り組んでくれたと思います。ステージに立つ前の研修生は非常に緊張しておりましたが、スピーチの後にはほっとした様子で「いい経験になりました。」と皆話しておりました。結果はマレーシアのアマさんが 2 位に入賞しました！（園田）

モンゴル研修生駐日モンゴル国特命全権大使に面会

11 月 24 日、モンゴル研修生 2 名が駐日モンゴル国特命全権大使に福岡市内のホテルで面会をしました。当日は熊本県推進協議会の山田事務局長も同席して面会され熊本県推進協議会のモンゴル訪問視察を大使に報告されました。大使も喜ばれ研修生も貴重な機会に恵まれ大使にご面会でき良かったと感想を述べていました。ありがとうございました。

（満川）

中央：ダンバダルジャー・バッチジャルガル
駐日モンゴル国特命全権大使 ☛

日本語能力試験感想

日本語能力試験が 12 月 2 日に行われました。研修生はそれぞれのレベルに試験を受けました。試験の後、研修生のインタビューでは、ほとんど文法・読解には色々な見たことない漢字があって、文章が長くて、時間が足りないと答えられました。しかし、聴解の方が得意なので、全力で聞き取ったそうです。そして、合格のパーセンテージを聞くと、皆、N5 から N1 までを受けた研修生たちは自信を持って、8 割で取れると返事しました。また、皆は「やっと試験が終わって、結果が発表されるまで、1 か月間ぐらい、ぐっすり眠れた。」と加えて話しました。それでは、一緒に結果を楽しんでください。（タン）

試験をする前の準備、大切なのは消しゴムと鉛筆ですとチャントーとマリアが話しました。

第28回LPガスセーフティフェアー2018

11月17日、18日と2日間にわたりLPガスセーフティフェア2018が早良区の西新パレスで開催され農産物等の販売や研修生達のお国の歌や踊りを披露しました。このイベントは福岡地区LPガス協会西支部の主催イベントで期間中は5,000人が来場され、会場内の展示品やオイスカブースでは農産物や家政研修生手作りのチェロス、研修センターの加工品でイチジクジャムやハリハリ漬け等を販売してたくさんの方にお買い求めをいただきました。また研修生達によるステージでの出し物では会場を盛り上げたくさんの方に楽しんでいただきました。ありがとうございました。（満川）

ステージでの研修生達のダンス ☛

福岡農業高校交流会参加

11 月 19 日（月）、太宰府市にある福岡農業高校、食品科学科の3年生約 40 名との交流会に参加してきました。
まず初めに農場や施設見学を行い、ちょうどミカン狩りのシーズンということで、ミカンをたくさん収穫させてもらいました。
その後、学生と一緒になってグループごとに分かれて国の紹介を行い、それぞれの国によって文化や習慣の違いがあることについて理解を深めてもらいました。
そして、次の会では2グループに分かれてオイスカ名物のインド風カレーづくりと福農名物のパン作りを一緒に行いました。少し時間がかかりましたがどちらも美味しそうに仕上がり、昼食時に学生と一緒に食べた時には、「オイスカのカレーとても美味しい」と言いながら学生たちは何回もおかわりをしていました。
そして最後にはゲームとダンスや歌の披露で大いに盛り上がり、学生達と楽しく交流を深め研修生にとってもよい思い出を作ることが出来ました。（豊田副所長）

ミカン収穫前の説明の様子（左写真）

カレー作り ☞

☜ パン作り

筑紫野市社会教育福祉会の職員センターを訪問

センターで生産されている卵を出荷している、筑紫野市にある天拝いこいの館という社会福祉協議会が運営している施設があるのですが、その販売所でオイスカの卵が大人気ということで、そこの職員の方が是非オイスカの施設、特にニワトリの様子を見学したいという申し出があり、11 月 20 日（火）総勢 12 名でセンターを訪問しました。
最初に研修生からバンブーバンドでのウェルカムソングを披露してから、オイスカの活動紹介、施設見学を行い、最後に念願のニワトリ小屋の見学に行きました。
大人気の卵がどのような場所で育てられているのか確認することが出来て、皆さん安心した様子で昼食を食べてから帰っていただきました。（豊田副所長）

地球市民どんたく（福岡よかトピア国際交流財団主催）

11 月 18 日(日)、天神中央公園で地球市民どんたくが行われました。今回で 20 回目を迎えるこのイベントですが、9 月に実行委員メンバーで SDGs の勉強会を行い、10 月に学生向けのポスターコンクールを行い、内外で気運を高めて当日を迎えました。
当日は福岡市内で活動をする NGO16 団体がブース出展を行いました。センターからはインドネシアの家政研修生のエルさんが参加し、野菜などの販売のお手伝いをしました。また、会場内の芝生広場では、楽器演奏や太極拳、段ボールハウス、水汲み体験などのミニイベントを通じて活動地域の現状を知るプログラムも行われました。（安東）

元気に野菜を売る家政科・後輩のエルさん

MUFG 社員との交流会を盛大に開催

11 月 24 日（土）、福岡県内の三菱 UFJ フィナンシャルグループの社員を対象に、71 名の方が参加して交流会が開催されました。
連休の中日ということで、例年より若干参加者が少なかったですが、当日は清々しい晴天のもと、午前中は 5 カ国の料理作り体験やもちつき、昼食をはさんで午後からは、収穫体験、国の文化紹介など盛りだくさんの内容で交流を進めました。
参加された社員の方からは、「作った料理がどれも美味しくお腹がいっぱいになりました」
「研修生が何でもまじめに積極的に取り組む姿勢に感心しました」などの感想をいただき、皆さん大満足の様子で参加していただくことが出来ました。
MUFG からの支援をいただいてから今年で 11 年目を迎え、今日まで100名の OB 研修生が育ち、現在もそれぞれの国や地域で活躍しています。今後も更に充実した研修を進めながら OB 研修生の活躍を社員の皆様に発信できるように取り組んでいきたいと思います。（豊田副所長）

研修生の国の紹介

研修生達と参加者のみなさんと集合写真

長崎国際大学との交流会に参加

11 月 28 日（水）、長崎県推進協議会からの招待で、丸協食産の食肉加工工場の見学と長崎国際大学の学生との交流会に参加してきました。
大学での交流会は午後2時からスタートし、学校の施設見学からグループごとのディスカッションが行われ、研修生からは写真を使って国の紹介を行いました。
また、長崎国際大学の特徴として「茶道」を授業に取り入れているという事で、研修生も茶室に招かれ、美味しい和菓子をいただきながら茶道の体験をさせてもらいました。
そして、最後には恒例のダンスとバンブーバンドの披露を行い、学生共々大いに盛り上がりながら、楽しい思い出をつくることが出来ました。（豊田副所長）

丸協食産見学

長崎国際大学での茶道体験

朝倉仮設住宅訪問

11 月 22 日(木)、朝倉市杷木地区にあります林田仮設団地を訪問しました。この活動は九州電力株式会社福岡支社が主体となって行っている支援活動の一環で、当日は住民の方へペーパークラフトによる写真のフレームづくりを行いました。
センターからは研修生 3 名とフィリピン人スタッフのリナさんでベトナムのフォーとフィリピンのアドボ(チキンの煮込み料理)の炊き出しを行いました。住民の方も珍しい料理に舌鼓を打ち、研修生に激励までしていただきました。
今後は雪がなければ今年度中にも東峰村でも同じような活動をしたいと九電福岡支社の副長の江上様がおっしゃっていましたので、引き続き、協力をしていきたいと思います。（安東）

☜ オイスカ料理人チーム

九電福岡支社の方々との集合写真 ☞